

【ポスター発表】

要介護者家族の社会とのかかわりが生活満足感に与える影響

○ 筑波大学 坂田美樹 (009046)

渡邊久実 (筑波大学・008908)、安梅勅江 (筑波大学・01476)

キーワード3つ：家族、社会とのかかわり、生活満足感

1. 研究目的

近年の在宅ケアの推進にともない、家族による介護が増加している。家族の負担軽減に向け、支援者は要介護者家族全体への支援という視点を持つことが重要である。

社会とのかかわりは、生活満足感(高橋ら,2012)や生きがい感(小窪ら,2014)との関連が報告されており、要介護者家族の社会とのかかわりの把握は、家族全体へのより良い支援に向け重要な課題である。

また、長期的な在宅介護は、家族の負担感との関連があることが明らかにされている(宮下ら, 2006)。一方で、要介護者家族の社会とのかかわりを把握し、生活満足感への長期的な影響を検討した既存研究は少ない。

そこで、本研究は要介護者家族の社会とのかかわりと生活満足感への長期的な影響を明らかにし、家族支援の一助とすることを目的とする。

2. 研究の視点および方法

中部地方大都市近郊 T 自治体において 2011 年と 2014 年に全住民を対象とし自記式質問紙調査を実施した。

2011 年の調査に参加し、「家族に介護を必要とする人がいる」と回答した 19 歳以上住民 392 名の内、2014 年調査時に脱落した 74 名を除く 318 名を分析対象とした。

調査項目は、基本属性として年齢、性別、主たる介護者かどうか、生活習慣病の有無を把握した。

2011 年の社会とのかかわりは社会関連性指標(安梅, 1995)を用い把握した。社会関連性指標は、人間と環境とのかかわりの量的側面を測定する指標である。「家族、親戚と話をする機会は何のくらいありますか」「生活は規則的ですか」「地区会、センター、公民館活動などに参加する機会は何のくらいありますか」「職業や家事など何か決まった役割がありますか」など、5 領域 18 項目 4 件法での回答を実施した。指標の基準に準じ、最も低頻度の回答を低群、それ以外の回答を高群とした。

2014 年の生活満足感は、「今の生活に満足していますか」とした項目に「はい」「いいえ」の 2 件法で回答を求めた。

分析は、2011年の基本属性、社会とのかかわりと、2014年の生活満足感の関連をカイ二乗検定で検討した。次いで、2011年の社会とのかかわりの2014年の生活満足感への影響を基本属性を調整変数とした多重ロジスティック回帰分析で検討した。解析には、統計パッケージ SPSS21.0 for Windows を使用した。

3. 倫理的配慮

研究の趣旨を口頭または書面で説明し、同意を得て実施した。本研究は、筑波大学医の倫理委員会の承認を得て実施した(承認番号 840-1)。

4. 研究結果

要介護者家族の年齢は 19 歳から 64 歳が 230 名(72.3%)、65 歳以上が 88 名(27.7%)であった。性別は、男性が 150 名(47.2%)、女性が 168 名(52.8%)、家族の中で主に介護を担う者が 89 名(30.9%)、主たる介護者でない者が 199 名(69.1%)、生活習慣病ありが 86 名(30.0%)、なしが 201 名(70.0%)であった。

2011年の基本属性、社会とのかかわりと 2014年の生活満足感のカイ二乗検定の結果、基本属性と生活満足感に有意な関連はみられなかった。社会とのかかわりについて「地域の活動への参加」「規則的な生活」の 2 項目で関連がみられた($p < 0.05$)。

2011年の基本属性を調整変数とし、関連がみられた項目について多重ロジスティック回帰分析を行った。その結果「規則的な生活」(OR : 3.87, 95% CI : 1.07-13.98)について有意な関連がみられ、基本属性で調整後も豊かな社会とのかかわりと良好な生活満足感に関連が示された。

5. 考察

本研究では、要介護者家族の「規則的な生活」が、3年後の良好な生活満足感に影響することが示された。

また、「地域活動への参加」について、調整変数を別々に投入して検討した結果、年齢及び生活習慣病の影響が強くみられた。要介護者家族の地域活動への参加状況と生活満足感には、家族の年齢や生活習慣病が影響していると考えられる。

本研究により要介護者家族に対する支援の一環として、規則的な生活を可能とする環境整備により、家族の長期的な生活満足感の向上につながることを示唆された。

これまで、要介護者家族は介護により生じる負担感やストレスに焦点があてられてきた。しかし、要介護者家族の地域生活における社会とのかかわりの状況を把握することで、家族自身のより良い生活に向けた支援につながると考えられる。